



プロジェクト名称

SDGs 学生委員会 綾いと

プロジェクト活動概要

本団体の目的は、できる限り多くの人に SDGs を他人事とせず問題意識を持ってもらうこと、また 1 つのゴールに絞らずに包括的に SDGs の達成に貢献をすることである。SDGs 達成のためには、まず世界の現状や SDGs とはなにかについて知ってもらう必要がある。そのために情報の発信や明確な問題意識をもった活動を大学の垣根を越えて他団体と共に行っていく。そして、その輪を少しずつ広げていくことで SDGs 達成に歩を進める。

プロジェクト終了後に目標とする成果・結果 / その進捗

- ① SDGs フォーラムに延べ 300 以上参加してもらう。
- ② 半期に 2 度、SNS のフォロワー及び、芝浦工業大学の学生を対象とした SDGs 認知度アンケートで「自分から行動を起こしている」と答えた人をアンケート回答者の 7 割以上にする。SDGs を自分事化している人を増やす。
- ③ 2 か月に 1 回、年間で 6 団体以上と共に SDGs の普及推進に関わるイベントを開催する。

①②に関しては目標達成できたかどうかの確認を行うことができなかったため、次年度の目標は、活動の変化に伴った目標を立てたいと考えている。③に関しては、外部の方々のイベントなどに手伝いとして多く参加するなど、目標を達成することができた。また SNS を中心とした他の団体との交流に力を入れ、これまで関わったことのない大学や企業の方々とお話しをする機会が増えた。その中の 1 つとして、今年の夏に、他団体との共同イベントを計画している。

SDGs への取り組み

《SDGs との関連項目》

申請書で選択した SDG 関連項目を表示し、関連しない項目は削除してください（複数ある場合、全て表示。）

私たちは、「一人でも多くの人に SDGs を他人事とせずに『問題意識』をもってもらう」という、SDGs への理解や知名度向上に努めているため、SDGs の 17 の目標としては、「パートナーシップで目標を達成しよう」が絡む活動を多く行っている。

より多くの人々の自分ごと化を核とし、様々な団体と連携した活動を能動的に行うことで私たち自身が SDGs に関する情報の発信媒体になり、既存のイベントに SDGs を絡めることで活性化することができる。



企業の取り組みを学生に紹介したりし、大学を持続可能な環境にしたり学生同士で SDGs に関するディスカッションを行い、考えを深めてもらうというソフトな面と、外部に SDGs に大きく貢献する環境形成といったハード面から SDGs アクションを活性化させることで、私達自身の変革を測ることができ、さらなる質の高い団体を目標とした。



活動状況報告 & 活動写真

活動期間：2023年3月1日～2023年5月21日

1. コンポスト

主催者:SDGs 学生委員会 綾いと

開催様式:対面

日程:2023/4月頃～

予算:なし

内容: 生ごみは焼却される際に二酸化炭素が発生する。そのためこのコンポストの企画では二酸化炭素の発生を減らすことを目的に、生ごみを肥料として利用する。斎藤記念館や食堂にて廃棄される生ごみを、キャンパス内の花の栽培などの肥料として利用する。

参考文献：[コンポストとは？仕組み・メリット・デメリット、やり方や自作方法、SDGs との関係 - SDGs メディア『Spaceship Earth \(スペースシップ・アース\)』](#)



2. アイシティ eco プロジェクト

主催者:SDGs 学生委員会 綾いと

開催様式:対面

日程:2023/4月頃～

予算:なし

内容: 使い捨てコンタクトレンズの空ケースはメーカー問わず全てポリプロピレンという材料で作られていて、これはリサイクルに非常に適したものであり、空ケースをごみとして燃やすのでは



なく、加工して再利用するのでCO2削減につながる。これはSDGsの1、3、4、8、12、13、14、15、17番の達成につながる。大学内に回収BOXを複数設置し、コンタクトレンズの空ケースを集める。集めた空ケースを段ボールに詰め(2kg以上になるようにする)、着払いで進栄化成株式会社に送る。

3. 「That's fashion Weekend」展示会の見学

主催者: GMO

開催様式: 対面

日程: 2023/3月18日

予算: なし

内容: 「That's fashion Weekend」とは、サステナブルファッションを体現するプロジェクト『THAT'S FASHION WEEKEND』 情報発信、若手支援、チャリティファミリーセールといった3つの活動を通して“地球に優しく生きる”という価値観を提案する。そして、2023年3月17日から開催される国内最大級のファッション・アートイベント『東京クリエイティブサロン 2023』日本橋エリアにて、SDGsを体現するプロジェクト「THAT'S FASHION WEEKEND」が開催される。そこで、当団体でそのイベントで行われている展覧会を見に行った。

4. 新歓の準備

主催者: 芝浦工業大学内の学生団体

開催様式: 対面、オンライン

日程: 2023/3月~4月

予算: なし

内容: 4月18日に、芝浦工業大学内にある学生プロジェクト合同の説明会を行った。主に、当団体と笑顔のまちなこそ復興プロジェクトの2団体で協力をして、お昼休みの呼び込み等を行った。また、システム理工学環境システム学科の1年生の授業で、学生プロジェクトの動画を流すということで、そのための勧誘動画作成を行った。

5. 「SDGs ものづくり教室」のための準備

主催者: 学生委員会 綾いと、任意団体 knot

開催様式: 対面

日程(予定): 2023/8月頃

予算: 10930円

内容: 「SDGs ものづくり教室」とは、任意団体 knot との共同企画で行う、小学生を対象としたイベント。現時点では東大宮のハレノテラス ひだまり広場で開催予定だ。SDGsの重要性を理解する場、持続可能な未来のための行動への関心を高める機会を提供し、また、ペットボトルを再利用する工作活動を通じてリサイクルに意識を向けてもらう、という目的を立てた。今後は、それらの目的を達成するための具体的なイベント内容を考えていく。

成果まとめ、今後の活動計画など



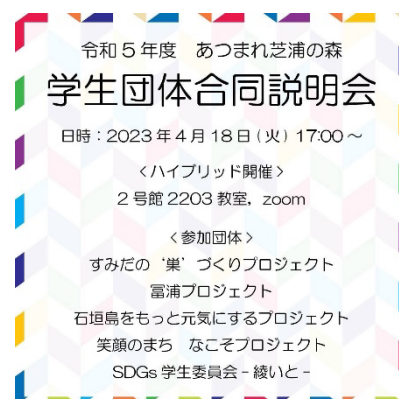
成果まとめ

下半期の活動では、実際に自分たちで行動する活動がメインであった。

「That's fashion Weekend」展示の見学では、全国の様々な大学のSDGsに関する団体の活動内容を知ることができた。私たちが思いつかないような企画を行っている団体もあり、とてもいい体験だった。私たちはSDGs全体に関する活動を行っているが、ある一つのターゲットに絞って活動を行っている団体もあり、どちらの良さも知ることができたのでとても刺激的だった。今後もこのような他団体の活動を知れるような機会を増やしていきたいと思う。

コンポストに関しては、生ごみを捨てる手間をなくし、ごみ袋の削減につなげることや二酸化炭素の排す津を削減することを目的として今年の4月から始動し始めた。コンポストは学内での認知度が低いと考えられるため、どのような活動なのか、どのようなことに役立っているのかなどをもっと宣伝していきたいと思う。

アイシティ eco プロジェクトの活動は、昨年より準備を進め、今年の4月からようやく始動することができた。コンタクト回収BOXは斎藤記念館と2号館の入り口にそれぞれ設置しているが、集まりは悪い。私たちとしてはもう少し集まると見込んでいたが、あまり空ケースの数は増えていかないため、広報により力を入れていきたいと思う。



新歓の準備・開催については、芝浦工業大学の5つの団体(綾いと、すみだの'巣'づくりプロジェクト、笑顔のまちなこそ復興プロジェクト、南房総富浦再生プロジェクト、石垣島をもっと元気にするプロジェクト)と合同で行った。今回は対面とオンラインのハイブリット形式にして参加しやすいように心がけたが、まだ団体の知名度があまり広まってないためか参加率は悪かった。ビラも配り宣伝活動も行ったが、新入生の興味を引くのはなかなか難しかった。

ハレのテラスでのイベントの準備では、子供たちにSDGsの重要性を理解し、持続可能な未来のための行動への関心を高める機会を提供し、ペットボトルを再利用する工作活動を通じて、リサイクルに意識を向けてもらえるような企画内容を考えている。これは任意団体knotと合同で行うイベントである。



今後の活動予定

・全国大学生グリーンミーティングへの参加

昨年もこのイベントに参加した。その際にプラスチック問題について話し合った。今回はSDGsの再確認、アフターコロナの環境活動などについて他大学の方と意見交換をするので、学びを深めるいい機会になればいいと思う。

・ハレのテラスでのイベント

昨年もハレのテラスで行われた東大宮の青年会さんが主催のイベントの手伝いに行かせていただいたが、今回は自分たちが企画し広報、集客、運営等をするので青年会さんからのアドバイスもいただきながら成功できるように努めていきたい。今回は対象が小学生なので、難しい言葉は使わず、だれもが理解できるように心がけていきたい。今回のイベントで少しでもSDGsに関心を持ってくれる子供たちが増えることを願っている。

・芝浦祭でのレモネードスタンド出店

昨年度も芝浦祭でレモネードスタンドを出店した。昨年は総額64152円集まった。昨年度は綾いととして初めての試みだったので設営や集客について慣れない部分もあったが、今回は一度経験しているので昨年よりもスムーズに進められるように心がけたい。また、昨年よりも宣伝にもっと力を入れて昨年よりも多くの募金額となるように精進していきたいと思う。綾いとはレモネードスタンドの理念に共感したので、芝浦祭だけではなく他のイベントでも出店していき、規模をより大きくしていきたいと思う。

